

PIOTR

PIANO RECITAL



photo: Art Rosner © Warner Classics

あの衝撃から30年
アンデルシェフスキ、
現在のディアベツリを聴く

シューマン
フゲッタ形式の7つのピアノ小品 作品126
暁の歌 作品133
ベートーヴェン
ディアベツリのワルツの主題による33の変奏曲 作品120

ANDERSKI

Triphony Hall
Great Pianists
Series

トリフォニーホール・
グレート・ピアニスト・
シリーズ

ピョートル・アンデルシェフスキ ピアノ・リサイタル

2019.6.4(火) 19:00開演
(18:30開場)

S¥6,000 A¥5,000 ※すみだ学割あり

[5公演セット券] S¥22,000

[ピアニスト・チョイス券] 対象公演3公演以上同時購入でS席1回券の15%引

※セット券の対象公演は裏面参照

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/
東京スカイツリータウン®より徒歩20分

■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料)へのご登録が必要です。

※すみだ学割はトリフォニーホールチケットセンター(電話・店頭)のみ取扱い。

@TriphonyHall facebook.com/SumidaTriphonyHall triphonyhall



変奏曲とフーガをめぐる生の冒険 青澤隆明

ピョートルはいつかピアノをやめるのではないかと私は思う——と語るブルー・モンサンジョンの渋面がいまも目に浮かぶ。グールドやリヒテル、メニューインやフィッシャー=ディースカウなどのフィルムで名高い映像作家が2007年末、ポーランドを旅するさなかに話していたことだ。アンデルシェフスキが弾く《ディアベッリ変奏曲》のことを考えていたら、ふとそのことを思い出した。

完璧主義ゆえに途中棄権をした1990年のリーズ国際コンクールで話題をさらったこの大曲の演奏を、10年後に映像作品にまとめたのがモンサンジョンで、同時に行われたレコーディングがアンデルシェフスキのVirginからのデビュー盤となった。2001年に続き、2007年11月にも東京で同曲を採り上げたが、この初夏、久しぶりに日本で演奏するのは、実に愉しみである。いまだつたら、また新しくなにかが見出せると思う——とアンデルシェフスキは言っていた。

アンデルシェフスキは痛々しいほどの誠実さで、作品との個人的な関係を際限なく深めようと努める。徹底した完璧さを求める執念にも近い意志が、彼の音楽表現や演奏活動を厳格に律してきた。敢えて困難に分け入るようにして、複雑さと多義性を生みぬくことは、彼の身上でもある。しかし近年はそこに、ある種の寛容さとともに自由の奥行きも増してきた。

ベートーヴェン晩年のハ長調変奏曲 作品120の前には、シューマンがやはり晩年の創造力を爆発させた1853年の2作が組まれることになった。バッハへの傾倒も深い《フゲッタ形式の7つのピアノ小品》作品126はアンデルシェフスキ最新の探求で、《暁の歌》作品133は2009年に日本で初披露した曲だが、いずれも複雑で捉え難い世界を抱く連作である。しかし、その内面の壊れやすい美しさには、真に魂を打ち震わす瞬間が無数に鏤められている。シューマンこそは唯一興味を抱く作曲家だ——というアンデルシェフスキの言葉にはそれだけ真に迫るものがある。

ピアニストという職業生活への懐疑は、本人がたびたび口にしてきたことでもあるし、実際に大胆なサバティカルもとった。しかし、葛藤と不安に激しく揺れながらも、アンデルシェフスキはピアノを弾くのをやめない。そのおかげで昨春にはトリフォニーホールでのバッハ・リサイタルで、《平均律クラヴィア曲集》第2巻の抜粋をついに披露することも叶った。さらには、深く共感するシューマンとベートーヴェン孤高の晩年作をいまも探求し続けている。

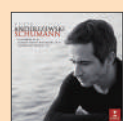
そうしてアンデルシェフスキがピアノを弾くかぎり、私は世界のどこかでそれを聴くだろう。もちろん、この6月にはトリフォニーホールで。

さて、ピョートル・アンデルシェフスキの本リサイタルはトリフォニーホールの今シーズンのピアニスト・シリーズの幕開けとなるが、興味深いことにピーター・ゼルキン、ヴィンゲル・オラフソン、ジャンルカ・カシオーリと、バッハとベートーヴェンに特別な敬愛と輝きをみせるピアニストが続く。トルコの新星ジャン・チャクムルもバッハを、ウィーンのシュテファン・ヴラダーはベートーヴェンの後期ソナタ 作品111を採り上げる。世代も出自も異なる個性が、それぞれに多様な解釈を響かせるのを体験することは、まさしくピアノを聴く醍醐味でもある。

CD



ベートーヴェン /
ディアベッリのワルツの主題による
33の変奏曲 作品120
録音:2000年
WPCS-12982 /
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン



シューマン /
ピアノ作品集(暁の歌 他)
録音:2010年
WPCS-12992 /
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン

S¥6,000 A¥5,000 すみだ学割あり※

[5公演セット券]

S¥22,000

対象公演:6/4(火)ピョートル・アンデルシェフスキ、8/5(月)ジャン・チャクムル
11/13(水)ピーター・ゼルキン、12/11(水)ヴィンゲル・オラフソン、1/20(月)ジャンルカ・カシオーリ

[ピアニスト・チョイス券]

対象公演3公演以上同時購入でS席1回券の15%引

対象公演:6/4(火)ピョートル・アンデルシェフスキ、8/5(月)ジャン・チャクムル、9/21(土)シュテファン・ヴラダー、
11/13(水)ピーター・ゼルキン、12/11(水)ヴィンゲル・オラフソン、1/20(月)ジャンルカ・カシオーリ

■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料)へのご登録が必要です。
※すみだ区割・すみだ学割はトリフォニーホールチケットセンター(電話・店頭)のみ取扱。

チケットぴあ [Pコード:144-760] 0570-02-9999 t.pia.jp

イープラス eplus.jp

トリフォニーホール託児サービスのご案内

[お申込み・お問合せ] 0120-500-315 [平日10:00~17:00]

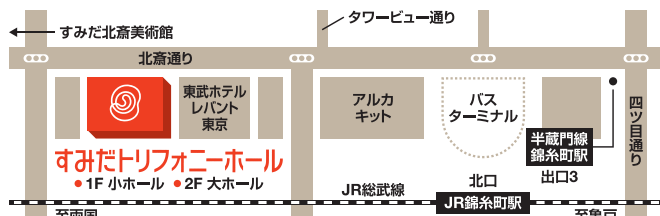
(株)小学館集英社プロダクション総合保育サービスのHAS(ハズ)

主催・企画:すみだトリフォニーホール 招聘制作:AMATI



助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/東京スカイツリータウン®より徒歩20分